

令和2年度学校評価実施報告書

弘前大学教育学部附属特別支援学校

1 実施方法

本校では、日々の教育活動の一層の充実を図るため、保護者・教職員・学校評議員による学校評価を実施している。今年度の各評価の具体的な実施方法、処理等は次のとおりである。

(1) 教職員評価

各教員が21項目について4段階評価するとともに自由記述による評価を行った。

結果について、全体平均よりも低い項目、及び自由記述の意見の中で検討する必要があるもの等について、関係部署等で対応策を検討し、全体で共通理解した。

(2) 保護者アンケート

教育活動全般にわたる12項目について、保護者対象に4段階評価のアンケートを実施するとともに、自由記述による評価を行った。

結果について、全体平均よりも低い項目、及び自由記述の意見等について、関係部署で検討し、結果と改善策を保護者に文書でお知らせした。

(3) 学校関係者評価

学校評議員3名に、第2回学校評議員会で学校の今年度の取組と成果を説明し、口頭でコメントをいただいた。そのコメント内容及び反映の状況については、次年度の第1回目の学校評議員会で説明する予定である。

2 結果、改善策等

(1) 教職員評価

全体平均は、昨年度の3.5ポイントから3.4ポイントへと下がった。

今年度はコロナ禍での評価となり、「体育等における障害者スポーツ体験活動の充実」「障害者スポーツ大会、各種作品展の開催」「附属校園等との計画的な交流及び共同学習の実施」「児童生徒の実態を踏まえた学部目標、学校目標を設定し、全体で連携して取り組んでいる」「本校の教育活動の情報発信に努め、地域住民や関係諸機関との連携が適切に図られているか」の項目が0.2ポイント以上下がった。低くなった要因として、本校が特に力を入れて取り組んでいるスポーツ・芸術活動等の予定していた行事や活動が延期になったり、実施できなかったことが考えられる。一方、「キャリア教育全体計画に基づく小中高一貫した取組」「専門性を高め、職責を遂行するための研修が積極的に進められているか」の項目が0.2ポイント以上上がった。高くなった要因として各学部においてキャリア教育について検討されたこと、進路情報誌を充実させたこと、オンラインでの研修を積極的に取り入れたことなどが考えられる。来年度は、障害者スポーツ体験活動や交流及び共同学習においても、オンラインを積極的に活用するとともに、ホームページを使って学校の特色ある取組を発信するなどして、改善を図っていきたい。

(2) 保護者アンケート

評価点の全体平均は、昨年度の3.6ポイントから3.7ポイントへと上がった。昨年度と同じく高い評価をいただいた。「保護者や地域住民に対する情報提供」に関しては、他の項目と比較すると評価点が低かった。今年度は、「学校だより」を発行するとともに、ホームページも定期的に更新してきたが、保護者や地域に対する情報提供の内容を充実させることができなかった。来年度は、コロナ禍における情報提供として、ホームページやメール、動画配信等を活用し、学校の特色や子どもたちの様子等を伝えることができるようにしていきたい。

(3) 学校関係者評価

弘前大学や外部専門家と連携した本校の教育活動，オンラインを活用しての取組に対して高い評価をいただくことができた。今後も地域や福祉施設，事業所等との連携を密にしながら，教育活動に取り組んでいきたい。

令和2年度 教職員評価

【評価】 4…良い 3…どちらかといえば良い 2…どちらかといえば悪い 1…悪い

No.		R2平均	R1平均
1	研究活動の充実と専門性の向上 (1)計画的な研究活動の実施及び研修会の開催	3.5	3.5
	(2)ニーズに即した計画的な研修派遣	/	3.5
	(3)大学の専門性の活用等による研究の推進	3.5	3.6
2	小中高一貫したキャリア教育の充実 (1)キャリア教育全体計画に基づく小中高一貫した取組	3.5	3.3
	(2)大学及び関係機関と連携したキャリア教育・就労支援等の実施	3.4	3.5
	(3)3年間を見通した計画的な現場実習等の実施	3.6	3.6
3	体育的・文化的活動の充実 (1)図画工作, 美術, 音楽等による表現活動の充実	3.4	3.6
	(2)体育等による障害者スポーツ体験活動の充実	3.6	3.8
	(3)障害者スポーツ大会, 各種作品展の開催	3.4	3.8
4	交流及び共同学習の充実 (1)附属校園等との計画的な交流及び共同学習の実施	2.9	3.5
	(2)弘前大学外国人留学生等学生との計画的な交流活動の実施	/	3.6
5	学習環境の整備と児童生徒の安全の確保 (1)グラウンド等施設・設備の充実	3.0	3.0
	(2)学校図書及びICT機器を含む教材等の整備と活用	3.3	3.4
	(3)危機管理体制の充実	3.2	3.3

6	学部運営(所属学部について評価する) (1)児童生徒の実態を踏まえた学部目標, 学校目標を設定し, 全体で連携して取り組んでいる。	3.5	3.7
	(2)学部・学級会計が計画的に処理されているか。	3.6	3.6
7	分掌・委員会活動(所属分掌・委員会について評価する) (1)分掌業務が計画的・効率的に行われているか。	3.5	3.5
	(2)委員会業務が計画的・効果的に行われているか。	3.5	3.6
	(3)業務分担が適切に行われ, 各自がその責任を果たそうと努めているか。	3.5	3.5
8	計画的な教育活動 個別の教育支援計画, 個別の指導計画, 年間指導計画, 個別移行支援計画に基づいて計画的な教育活動が展開されているか。	3.6	3.5
9	保護者との連携 保護者との信頼関係が保たれ, 共通理解した上での指導がなされているか。	3.5	3.5
10	地域・関係機関との連携 本校の教育活動の情報発信に努め, 地域住民や関係諸機関との連携が適切に図られているか。	3.2	3.5
11	教育実習等の充実 教育実習, 学校生活体験実習, 介護等体験実習の指導・評価が適切に行われているか。	3.6	3.6
12	特別支援学校教員としての専門性の向上 専門性を高め, 職責を遂行するための研修が積極的に進められているか。	3.3	3.2
全体平均		3.4	3.5

令和2年度 保護者アンケート結果

回答数54名（回収率100%）

番号	内 容	令 和 2年度	令 和 元年度	平 成 30年度
1	学校は、社会参加や自立を目指した教育活動を適切に行っていると思いますか。	3.7	3.5	3.6
2	健康や安全、給食に関する取組は適切だと思いますか。	3.8	3.7	3.8
3	施設や教材教具等、学習環境の整備は適切だと思いますか。	3.5	3.5	3.5
4	お子さんは楽しい学校生活を送っていると思いますか。	3.7	3.7	3.7
5	教職員は相談しやすく、丁寧に対応していると思いますか。	3.8	3.6	3.7
6	将来の進路や職業についての指導、また進路に関する情報提供が適切に行われていると思いますか。	3.6	3.4	3.4
7	保護者や地域住民に対して情報提供が適切に行われていると思いますか。	3.5	3.4	3.4
8	お子さんや保護者の個人情報の取り扱いが適切だと思いますか。	3.8	3.7	3.6
9	本校の安全対策（避難訓練）は適切だと思いますか。	3.6	3.6	3.6
10	「個別の教育支援計画」は児童生徒の実態に即して作成されていると思いますか。	3.8	3.6	3.6
11	「あゆみ」は学校での様子を分かりやすく伝えることができていると思いますか。	3.8	3.6	
12	個人面談や家庭訪問等、話し合いの回数や時間の設定は適切だと思いますか。	3.6	3.5	3.5
		3.7	3.6	3.6